



2年学年だより

発行日：令和3年6月30日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 3

自分の居場所について

校長代理 富樫哲一

6月も終わりに近づきました。部活動によっては既に市の総合体育大会が始まっていて、特に運動部に所属している皆さんは週末の土曜日、日曜日の試合のことを考えてワクワクしたりドキドキしたりする毎日なのではないでしょうか。3年生の皆さんにとっては、全国までつながる最後の大会となるのでその感情の高ぶりも一段と大きいことでしょう。

先日、ある部活動の応援にいきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、マスク着用かつ大声での応援の禁止、手指の消毒、人数の制限がされている等、例年とは違った市の総合体育大会となっていました。しかし、保護者の方に応援してもらおうことができるので、特に3年生は充実した様子で試合に臨んでいるように見えました。

当日、試合の応援をしながら改めて考えたことがありました。それは「自分の居場所」についてです。

皆さんは、家族の一員であり、学校・クラスの一員でもあり、ある友達グループの一員でもあります。また、人によっては、運動部や文化部、校外で行われるクラブ活動というグループの一員でもあり、塾や習いごとのグループの一員でもある人もいます。多くの人間が存在する社会で生活をするということは、本人が望む望まないにかかわらず、それぞれのグループの一員として複数の「自分の居場所」をもつこととなります。

皆さんはすべてのグループにおける「自分」が快適と感じていますか。すべて快適と感じている幸せな人も中にはいるかもしれませんが、多くの方は「このグループの自分はちょっと息苦しいな」「このグループは自分と合わないな」と感じることもあるのではないのでしょうか。でもそれはいたって当然のことと思います。それは、それぞれのグループにはグループの常識（価値観）やルールがあり、その従うべきルールやもつことを求められる常識（価値観）が自分と合わないことから息苦しさや不満を感じるのです。

「自分の居場所」は多ければ多いほど安心して豊かに人生を送ることができると思います。ある一つのグループの「自分の居場所」が辛く、息苦しいものであっても、他のグループの「自分の居場所」は楽しくほっとできるものかもしれません。幸いなことに社会には本当に多くのグループがあり、そこで「自分の居場所」をつくることのできる可能性があります。さらに言えば、皆さんはまだ中学生。時間的にも多くの「自分の居場所」をつくることのできる可能性が高いのです。

ここで皆さんに伝えたいのは、たとえ、あるグループでうまく「自分の居場所」を見つけられなくても、それはあなたがダメだということでは決してないということです。たった一つのグループに合わないとしても、他のグループすべても同様に、あなたを受け入れてくれないということではありません。ある一つのグループの価値観やルールが自分に合わないだけなのです。

皆さんには、南高等学校、南高等学校附属中学校で生活する6年間で、まだ出会ってはいないけれど、静かに皆さんと会うのを楽しみにしている、新しい「自分の居場所」を積極的に探しにいてもらいたいと思います。もちろん、学校としてもクラスや部活動等が安心できる皆さんの居場所の一つと思ってもらえるようにしっかりと取り組んでいきます。

本校生徒がご利用いただける「給付制度」および「統合賠償責任保険」のご紹介

【日本スポーツ振興センター災害共済給付制度】※掛金年間460円：学校納入金にて徴収済みです。

授業や部活動、登下校中などの学校管理下で起きた傷病が対象となる制度です。保険診療内にかかった医療費と通院に伴う費用（医療費の1割）が給付されます。詳細は保健室にお問い合わせください。

【日新火災海上保険株式会社 統合賠償責任保険】※掛金年間265円：部活動振興費より徴収済みです。

授業や部活動、校外学習などの学校管理下で、他の生徒または第三者に損害をあたえた場合や、生徒が偶発の事故により学校所有物を損壊させた場合などに補償されます。詳細は担任の先生にお問い合わせください。

体育祭 中学生の部開催！

6月1日(火)の午前中に、気持ちの良い青空のもと体育祭中学生の部を開催しました。短い準備期間、接触をなるべく避ける、大きな声は出さない、というたくさんの制限の中、体育祭実行委員さんを中心に準備、運営されました。2年生の学年種目は全員リレー。体育の授業中にも練習時間をいただきながら、走るのが苦手な人も得意な人もカバーし合って、バトンをつなぎました。本番はどのクラスも、自分たちの記録更新達成！さわやかな風とともに、清々しい時を楽しむことができました。各クラスの体育祭実行委員さんもありありがとうございました。

今年度もコロナ感染予防のため、中高別開催となってしまいました。来年こそ中高一緒に、保護者の方々にもご参観いただいて、盛大に体育祭を楽しめますように！次に実行委員さんのふりかえりを紹介します。

体育祭実行委員会2学年代表 短い準備期間でしたが、本番では皆本気で取り組んでくれて、やる時はやれる学年だと思いました。しかし、練習の時からもっと熱心にできたら、楽しめる時間がもっと増えると思います。これからの行事でも、「ようし、やるぞ！」と一声かけて、明るく気合を入れて、みんなで盛り上げていきましょう！



1組: 体育祭を通してクラスが一つにまとまったと思います。一生懸命頑張っている人を全員で見守り、応援していてよかったです。練習の時や話し合いの時から皆で盛り上げてくれてありがとう！これから先もこの2年1組全員で、たくさんいい思い出をつくっていきましょう！

2組: 2組は本番当日まで全員リレーの練習をすごく頑張っていました。一緒に練習している人たちでアドバイスをし合っていました。さらに体育祭実行委員が細かいことまでうるさく言っても、しっかりと聞いてくれてありがたかったです。2組の結果は最下位だったけれど、盛り上がりにおいては一位でした。



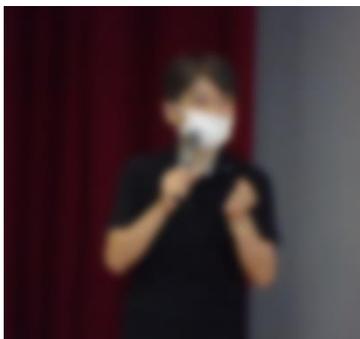
3組: 体育祭を通して2年3組は、盛り上げる時と真剣にやる時のメリハリがある良いクラスだと思いました。そしてもっとクラスみんなが協力すればクラスがひとつになると思います。これからの行事に向けて、クラスで協力してよりよいクラスにしていきたいです。



4組: 授業中は静かですが、盛り上がる時は盛り上がり、一生懸命に取り組む4組。全員リレーでは3位になってしまいましたが、競技後や振り返りの時間で、多くの人がクラスに向けて感謝の言葉を送っていました！そんな4組の一員となれて嬉しく思います。これからも、一生忘れられない思い出をみんなで作っていきましょうね！



合唱コンクール代替行事・先輩をお呼びして



6月11日(金)に合唱コンクールの代替行事として、南高校卒業生の南雲玲生さんをお招きして、「ゲーム制作の裏側、課題解決のヒント」をお話していただきました。南雲さんはこれまで音楽ゲームや100個以上のアプリを開発されてきました。また「高校生のころ人前で話すのが苦手だった」「挫折したときは、とことん調べ尽す」という経験も披露してくださいました。生徒からの質問に答えていただきながら「興味のある事柄にどんどんチャレンジして！好きなことは全部する！」というメッセージもいただきました。ゲーム好きの多い9期生の心に、南雲さんの言葉から、何か芽を出していくのでしょうか。楽しみです。

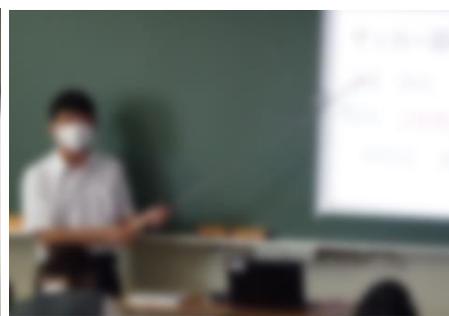
EGGゼミ第1期☆クロムブックを使って発表会

EGGゼミ第1期「情報の整理」の学習のまとめとして、PCスライドを使って「学校紹介」を行いました。今年度赴任された先生方のおひとりとして富樫校長代理先生や、昨年度いらした藤森副校長先生も9期生の発表を見に来てくださいました。新入生ならぬ、2年生の学校紹介として、知られざるディープな魅力を披露し合い、お互いに発表を楽しむことができました。4月から使い始めたクロムブックも、上手に使いこなしていました。



本番をイメージして
ペアで練習！お互い
に磨き合います。

係活動をあらためて
見直してみたり、我
が部の魅力をアピー
ルしたり。



水無月の福袋 6月は体育祭に、EGG発表会、合唱コン代替行事が続き、さらに9期生のフロアには二人の教育実習生をお迎えしました。高校生と一緒にの行事は中止となってしまいましたが、1期生の先輩である実習生のお二人の姿を見て、中高一貫教育校であることが実感できたのでは？先輩たちが後輩を育てていく附属中。さあ、9期生も10期生のお手本になれるよう、行事も部活も全力投球！